

『課題解決型（PBL）を取り入れた海外派遣フィールドワークプログラム』

～最終報告会～

今年度から東北大学初となる試み、課題解決型（PBL）プログラム。

経済学部の45名の学生が、4月から半年をかけて

課題解決に取り組んできました。

「仙台にもっと外国人観光客を呼びたい！」

「日本の酒文化をアメリカでもっと浸透させたい！」

「バンコクの渋滞問題を解決したい！」

様々な課題意識を持った学生が、自分たちで解決策を考え、

実際に行動に移しました。

夏休みを使ってNY、香港・広州、タイで行った  
2週間のフィールドワーク。

日本で考えていた仮定が違っていたり、

言葉・文化の壁にぶつかったり。

大学生が起こせるインパクトなんて、

大したことが無いと思われるかもしれません。

でも、本気で課題解決のことを考えて、その思いが伝わったとき、

周りの人たちが動き出します。

現地の大学生がたくさん集まってくれました。

イベントでは、たくさんの地元の人たちが興味を持ってくれました。

わたしたちが半年をかけて準備をして、

たった2週間のフィールドワークで起こしたインパクト。

「わたし一人が動いたって」「大学生にできることなんて」

もしもそう思っているのなら、是非この最終報告会にお越し下さい。

半年前よりも、大きく成長した45人がお待ちしております。

---

日 程：2014年10月30日（木曜日）15：00－18：00

（14：45から受付開始）

会 場：東北大学川内北キャンパス 講義棟 B 棟 103

Contents：

参加9チームによる報告プレゼン対決  
One Day Event「東北から世界へ」報告  
東北企業の海外進出市場調査の報告  
海外で活躍する本校OGによるレクチャー

コメンテーター：

秋田 次郎 研究科長（東北大学経済学研究科）  
西山 慎一 准教授（東北大学経済学研究科）  
末松 和子 教授（東北大学グローバルラーニングセンター）  
渡邊 さやか 氏（一般社団法人 re:terra 代表取締役）

---